



IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM

GR86/BRZ Race
PROFESSIONAL Series

GR 86/BRZレース5年目の挑戦は GT500ドライバーの中山雄一選手を起用



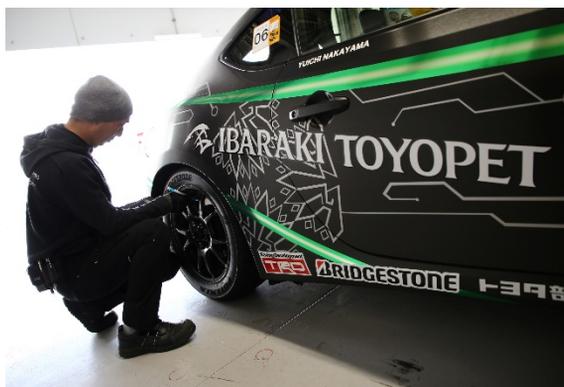
2月22日に鈴鹿サーキットのスポーツ走行枠で今シーズン初のテストを行なった中山選手とチームは、まずドライバーが車両に慣れることを優先して、ユーズドタイヤで走行をスタート。実質20分程度のスポーツ走行枠で、しかも40台を超えるマシンが一斉に走行したこともあり、クリアラップを取ることが難しい状況だった。それでも、二枠目にはセッティングを開始し、ニュータイヤでの走行も実施。三枠目、四枠目と走行を続け、様々なセッティングを試しながら煮詰めていく。セッティングとともに自身のドライビングも調整し、路面コンディションが向上した四枠目ではタイムアタックも実施。クリアラップは取れなかったが、それでも昨シーズンの最終戦のタイムと比較しても上々なラップタイムで初走行を終えることとなった。

茨城トヨペットレーシングは、今シーズンも国内屈指のワンメイクレースとして多くのエントリーを集めているGR 86/BRZレースに参戦する。最高峰のプロフェッショナルシリーズには3年目、シリーズとしては5年目の挑戦となる。

今シーズンは、チームの母体となる茨城トヨペットが「GR Garageつくば」を3月末にオープンすることもあり、マシン名を「GR Garageつくば86R」に変更。また、ドライバーには、スーパーGT・GT500クラスに参戦する中山雄一選手を起用し、悲願の表彰台と初優勝に挑むこととなる。GR 86/BRZレースに初参戦することとなった中山選手は、ナンバー付きのマシンとなる86レーシングに乗るのが初めてだったが、シェイクダウンテストから高い順応性を見せることとなった。

セッティングやドライビングなどで見直すところや煮詰めていく必要はあるというが、シェイクダウンテストとしては想定していた以上の内容となった。3月23日-24日に鈴鹿サーキットで開催される開幕戦まで時間は少ないが、できる限りの走行テスト時間を見つけて、準備を進めていく。

昨シーズンは第3戦のオートポリスで初ポイントを獲得し、第6戦の十勝スピードウェイでも6位入賞と着実にチーム力を高めてきた茨城トヨペットレーシング。5年目の2019年シーズンは飛躍の年にする、チームの士気も高まっている。



茨城トヨペット様に声を掛けてもらいGR 86/BRZレースに参加できることを嬉しく思います。TGRドライバーとしては参戦したいカテゴリーだったので、期待に応えられるように結果を残したいです。チームは、私が昨年まで所属していたカローラ山口との協力関係があるため、知っているメンバーもいて心強いです。GR 86/BRZレースは、国内のトップドライバーが参戦しているので、簡単上位に入れないことは分かっています。それでも、結果を求められていることも承知しているので、初年度ですが優勝争いを行ないたいです。

シェイクダウンで乗った印象としては、攻めないとタイムが出ませんが頑張りすぎても遅くなってしまいます。限界を見極めながらマシンの最適なポイントを探るのが難しいです。まだ乗ったばかりですが、ドライビングで詰められるところは多そうなので、開幕戦までに調整していきたいです。



Chief Mechanic's Comment

清水 修チーフメカニック / Osamu Shimizu

今シーズン初走行と中山選手のシェイクダウンテストでしたが、想定通りのメニューを消化できました。中山選手はワンメイクレースマシンの走行が初めてということでしたが、さすがにGT500のドライバーということもあり、数周でマシンには慣れたようでした。フィードバックも的確で、マシンの良いところと悪いところが瞬時に返ってきます。開幕戦までには追加のテストもできそうなので、予選シミュレーションやロングランの状況も試して、万全の状態シーズンインしたいです。強力なライバルが多いですが、今シーズンは常に上位を目指して、まずは表彰台に登りたいと思います。



チーム名称: IBARAKI TOYOPET RACING TEAM

車両名: GR Garageつくば86R

チーム代表: 幡谷俊一郎

チーム監督: 石川一郎

チーフエンジニア: 山崎 登

チーフメカニック: 清水 修

ドライバー: 中山雄一



GR 86/BRZ Race

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADSBILLION
OILSTWS
racingWheels

BRIDE

Racing Development
TRD